

大阪の

# まちづくり

Vol. **16**  
2011年6月

快適で安全な街をめざして、(財)大阪府都市整備推進センターの取り組み情報をお届けします。

特集

## エリアマネジメント

- 貝塚市東山丘陵地区、寝屋川市寝屋南地区のまちづくり●
- ちきりアイランドのまちづくり●
- 河川の賑わいづくり●
- 石畳と街灯まちづくり支援事業●

## まちづくり活動

ちきりアイランド便り

INFORMATION お知らせ

情報BOX

まちづくりの輪

## 特集／エリアマネジメント

- 貝塚市東山丘陵地区、寝屋川市寝屋南地区のまちづくり…………… 1
- ちきりアイランドのまちづくり…………… 5  
～つくり、育てるエリアマネジメント～
- 河川の賑わいづくり  
中之島バンクス…………… 6  
八軒家浜にドリカムツリーが植樹されました…………… 7
- 石畳と淡い街灯まちづくり支援事業…………… 8  
～大阪府内の歴史・文化的資源を活かした魅力創出の取り組み～

## まちづくり活動

- まちづくり初動期活動サポート助成制度 & まちづくりアドバイザー派遣制度のご案内…………… 10  
～地域の方々のまちづくり活動を支援します!～
- まちづくり初動期活動サポート助成【事例紹介】  
その1／富田地区における歴史資源を活かしたまちづくり活動《けさたんと会》…………… 11  
その2／竹内街道沿道のにぎわいづくりと景観形成の仕組みづくりの取り組み《竹内街道にぎわいづくり協議会》…………… 12
- 密集市街地サポート助成制度のご案内…………… 13  
～木造賃貸住宅の建替え等を支援します!～
- 寝屋川市萱島東地区における防災機能を備えた公園の整備…………… 14

## ちきりアイランド便り

- 『ちきりアイランド』ランドサインが完成しました!…………… 16
- 平成22年度も干潟観察会を開催しました!…………… 17

## INFORMATION お知らせ

- 大阪府土地区画整理組合連合会総会開催のお知らせ…………… 18
- 第27回大阪府まちづくり功労者賞の感謝状贈呈式を開催…………… 18
- JR島本駅西地区まちづくり協議会の発足…………… 18
- 藤井寺駅周辺まちづくり協議会の発足…………… 19
- 組合区画整理事業が本格的にスタート!(豊中市上新田土地区画整理組合)…………… 19
- 視察研修会を開催しました(香里園駅東地区第一種市街地再開発事業)…………… 19
- 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震…………… 19

## 情報BOX

- 市町村技術職員研修会…………… 20  
～市町村職員向け——気軽に受講できる技術研修の開催～

## まちづくりの輪

- 賛助会員及びまちづくりアドバイザーのご紹介…………… 21

(財)大阪府都市整備推進センターのごあんない … 裏表紙



# 貝塚市東山丘陵地区、 寝屋川市寝屋南地区のまちづくり

## 1. はじめに

近年の地価動向をみると、都市圏では下落率は減速するものの、依然として下げ基調が続く中、土地区画整理事業を立ち上げる環境としては依然厳しい状況にあり、単に公共施設の整備改善や区画形質の変更による従来型の土地区画整理事業では、大きな増進が期待できず、それにともない減歩率が高くなる傾向にあります。一方、現在の社会情勢の変化にともない、保留地処分においても厳しい状況にあり、リスクを分散し、いかに地権者にとってのトータルのメリット、価値を見出し、合意形成のもと進めていくことができるか、さらにはいかに資産価値を下げずに維持し続けるかが事業化における重要なポイントとなってきています。

本稿においては、区画整理事業が進捗しているなかで、魅力の向上を図り、付加価値を高めるために、「街区や公園などの都市基盤をどのように整備できるか」「住民が自らのルールにより住宅を整え、どのようにまちを育てていくか(東山丘陵地区の『しつらい集』、寝屋南地区『心得集』)」の観点から、地権者、新住民、地元市、専門家など知恵を出し合い、協働のまちづくりの方針を定めて、資産価値を下げない工夫、エリアマネジメントの取り組みを実践した2事例を報告するものです。

## 2. 貝塚市東山丘陵地区

### 2-1 事業概要

当地区は、標高差約45mからなる丘陵地であり、梅畑を中心とした農地やため池などの農業利用が約7割、松林などの山林が約2割。そのほか中学校や運動広場などの公益施設としての利用がなされていました。(写真1)



〈写真1〉整理前航空写真

広域幹線道路の交差点という交通至便な適所に位置し、自然環境、住環境としての良好な条件を持ち合わせていることから、道路や公園などの公共施設を整備改善し、宅地の利用増進を図り、良好な市街地を形成し、将来における無秩序な乱開発によるスプロール化を未然に防ぐことを目的に事業が行われました。(表1・図1)



〈図1〉整理後計画図

〈表1〉事業概要

事業期間	平成8年度～平成20年度
施行面積	75.69ha
組合員数	285名(平成20年2月9日現在)
計画予定人口	約6,400人(住宅戸数約1,800戸)

### 2-2 エリアマネジメントを導入することになった経緯

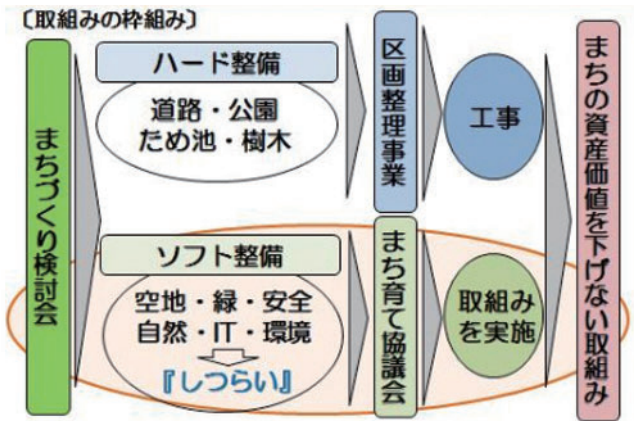
先に述べたように、まちづくりの発意からまちびらきまで長期にわたり、その間にバブル崩壊という経済情勢の変化により、これまでの区画整理事業のように保留地は放っておいても売れる時代ではなくなり、まちの魅力付けや付加価値を付け、他地区とは違う特色あるまちを創りださないと売れない時代へと変わってきたことから、東山丘陵地区の魅力を高める協働のまちづくり取り組みが実施されることとなり、まさにエリアマネジメントの導入が検討されました。

魅力あるまちづくりへの取り組みについては、保留地販売促進を前提に事業地区が地域に誇れる、21世紀にふさわしいまちづくりの推進を図るとともに、良質な新郊外生活の実現をその目的として、平成15年9月に『貝塚市東山丘陵地区まちづくり検討会』を設立しました。検討会には組合理事をはじめ、デザインや建築などの専門家にも加わっていただき、まちのイメージコンセプトやハードの整備方策とソフト面の検討、またそれを実現化するための方策など、まちの資産を高める施策の検討が行われ、計画の変更が可能な箇所においては、まちの魅力づけに繋がる整備へと変更を加えました。さらに、魅力ある協働のまちづくりのルールづくりとして、「まちづくりしつらい集」の作成やまち育て協議会の設立に向けて、組合理事の代表と自治会役員(新住民)が中心となり、組合事務



局や市当局、まちづくりアドバイザーとしての都市整備推進センターも参画して約10カ月をかけて取り組みました。

〈図2〉



〈図2〉魅力あるまちづくりの取り組み

### 2-3 エリアマネジメントを導入するにあたっての課題や成功のポイント

地権者(組合員)への啓発や新住民への理解、活動への参画、さらに継続性の維持の観点から、まちづくりの指針となるガイドライン(まちづくりしづらい集)の策定とそれを実施するマネジメント組織(マネジメント組織)が必要となります。

#### (1) まちづくりしづらい集の策定

保留地販売開始後から取り組みをはじめ、すでに100戸余り、全体の戸建住宅の割合として100 / 1800が建築され販売された後であったことから、自治会役員からは『後でルールをつくり、今後保留地を購入し、新築される入居者にしづらいを押し付けることになるのでは』といったような心配する声があったが、これら問題についてはすでに居住されている方もまちの資産価値を下げないことを目的に、これからでもできるしづらいについては積極的に協力し取り

〈表2〉しづらい集の主なしづらい

風薫る丘東山 “まちづくり・しづらい集” (東山まちづくり六法)	
まちづくりソフト整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区計画 ● 建築物及び敷地の際のしづらい</li> <li>⇒ まち並のまとまりへの配慮</li> <li>⇒ 都市全体の温度上昇を防ぐ省エネ型まちづくり</li> <li>⇒ すまいと公共空間の接点での工夫</li> <li>⇒ 犯罪の発生を防ぐ開放的なまち並みづくり</li> <li>⇒ 周辺とのプライバシーに配慮したすまいづくり</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空地のしづらい</li> <li>⇒ フリーマーケット、ドッグラン、ガーデニング、家庭菜園、ふれあいの場</li> <li>● 緑のしづらい</li> <li>⇒ 維持管理ボランティア、敷地内植栽、民地の際の整備(生垣など)</li> <li>● 安全のしづらい</li> <li>⇒ 地域セキュリティ、防犯パトロール</li> <li>● 自然・生き物のしづらい</li> <li>⇒ ビオトープ、体験農業、自然学習</li> <li>● ITのしづらい</li> <li>⇒ 電子回覧板、IT宅配サービス</li> <li>● 生活・環境のしづらい</li> <li>⇒ 地域の環境美化、雨水利用、太陽光発電など</li> </ul>

組むことを新住民が確認し合い、しづらい集を策定しました。

〈表2〉

特徴としては当地区のまちづくりについては地区計画により建物の用途や敷地規模、建物等の意匠形態やかき柵の構造制限など法的規制を定める他、しづらい集の中でも自主協定としてさらにきめ細かなまち並み景観を形成するために周辺とのプライバシーに配慮しながらも開放的なまち並みづくりのしづらいや住まいと公共空間の際の工夫など調和のとれたまち並みを形成することを目標に、建築物及び敷地の際のしづらいについてもまとめ、記載しています。

まちづくりしづらい集とは、まちづくりにおける従来の規制型のルールではなく、もう少し積極的にまちの魅力をつくりだし、大事な資産の価値を下げず、逆に高めていく「提案型」のまちづくりを進めるためのヒント集・素材集として「6つのしづらい」をまとめたものです。〈表3〉

これに基づき、提案型まちづくりを進めることは、このまちにかかわる人々がお互いにアイデアを出し合い、情報・意見を交換し、ともに協力していくことで、コミュニティの醸成が図れ、住民や地権者など地域に関わる全ての人がいっしょにまちの魅力を高めていくことがねらいです。

〈表3〉6つのしづらい

<p>空地を利用し、正月に行われた餅つき大会の様子</p>	<p>緑のしづらい 緑あふれる美しいまちを保ち育てる維持管理ボランティア活動は月1回実施</p>	<p>生活・環境のしづらい 月3回行われている防犯パトロールの様子</p>
<p>公園で開催された自治会主催のフリーマーケットの様子</p>	<p>緑のしづらい 庭木や家庭菜園、生け垣など民地の際の部分まで緑化に努めている</p>	<p>安全のしづらい 降雨時の雨水をタンクに貯留し、菜園や打ち水などに利用している</p>

## (2) マネジメント組織の設立(まち育て協議会)

6つのしつらいを含むまちづくり・しつらい集の策定後、これらしつらいを実現するためには実際に誰が主となり取り組むとよいのかという問題がありました。例えば、自治会が運営することでそれぞれの自治会による取組みの温度差や維持管理費用など課題があり、東山丘陵地区ではまち育てを地区で一元化する組織づくりが望ましいと考え、まちづくりのしつらいを共に学び、創り上げていくという協働のまちづくりの実現と推進を目的に、各自治会役員、組合理事、地区内に進出している企業者などで構成したまち育て協議会を発足しました。〈写真2、表4〉



〈写真2〉  
協議会の様子

〈表4〉まち育て協議会の構成

設立時	会 員：自治会役員・班長、組合理事 アドバイザー：大阪府都市整備推進センター オブザーバー：貝塚市
組合解散後	会 員：住民、地主、地区内関係者 アドバイザー：大阪府都市整備推進センター オブザーバー：貝塚市
まち育て協議会の活動運営費用	
立ち上げ期	貝塚市のアドプトプログラムの適用 大阪府組合区画整理連合会の「エリアマネジメント助成」 200,000円/1回のみ 自治会費より、300円/世帯・年(約120,000円)
今 後	上記+(地主・地区内関係者からの会費、コミュニティ ビジネス、イベント等による収益、等)

まちびらき後においてもまち育て協議会では活発な取り組みの結果、まちのしつらいが一つ一つ実現化されています。例えば、各家庭の門灯を消さずに夜道を照らす1軒1灯運動や地域において誰にでも挨拶し安心安全なまちづくりを推進する声かけ運動、区域内にある空地を利用して催される餅つきやフリーマーケットや緑あふれる美しいまちを保ち育てる維持管理ボランティアなど、新たなコミュニティの醸成にもつながり、親だけでなく子供たちも積極的に参加するまち育て協議会となっています。

### 2-4 土地区画整理事業にあわせて 実施したことによるメリット

まちづくりの当初の思いやコンセプトをその後に住む人や利用する人に伝えていくこと、また大半が地区外に居住している換地後の地主(組合員)へのまち育てへの意識の啓発、さらに新住民との関わりを持たせることが重要であり、

このことから区画整理事業中に協議会やしつらい集を創れたこと等が上手くいった一つの要因であると考えられます。

また、大阪府組合連合会においては、土地区画整理事業中や事業後の地域にエリアマネジメントを実施する際には、余剰金の寄付金による基金を活用して助成する「おおさかエリアマネジメント助成」を創設しています。当該地区はその第1号地域として適用されたこともメリットとなっています。

## 3. 寝屋川市寝屋南地区

### 3-1 事業概要

寝屋南地区は、大阪府寝屋川市の東部にあり、JR学研都市線「星田」駅の西1kmに位置し、都市計画道路池田秦線(主要地方道枚方交野寝屋川線)、第二京阪道路(都市計画道路大阪枚方京都線)に接する地区(図3)で、第二京阪道路の建設にともない、無秩序な乱開発による周辺環境の悪化が懸念されていたことから、平成15年3月に沿道地区まちづくり基本構想が策定され、都市計画道路寝屋線の整備をともなった商業・流通業務などが複合的に立地する魅力的な都市拠点を目指して、協働のまちづくりが進められました。〈表5、写真3、図4〉



〈図3〉位置図

〈表5〉事業概要

事業期間	平成19年度～平成23年度
地区面積	約22.7ha
地権者数	95名(平成21年11月6日現在)
総事業費	約54億円





〈写真3〉整理前航空写真



〈図4〉整理後計画図

### 3-2 寝屋南地区での時代にあった うまい土地区画整理事業の取り組み

#### (1) 継続できる魅力あるまちづくり

行政や専門家による助言、アドバイスを受けながら、事業の立ち上げからまち育てまでを住民主導の協働のまちづくりを行うこととしました。

- まちづくりを進めるそれぞれの段階において、地権者間の協定やまちのルールを設け、事業完了後も住民が主体となって、フォローアップしながらまち育てを行っていく。
- 寝屋南の持続的な発展に向けたまち育て協議会の設立や、次世代によりよい形でまちを継承するための指針となる「まちづくり心得集」(地域の歴史、文化を踏まえた魅力づくり、くらし・すまいへの安全・安心)を、地権者や学識経験者のもと作成した。

#### (2) 土地活用の確実性の確保

昨今の土地区画整理事業においては、換地される権利者の意向としては自己利用や売却より借地による土地経営の希望が強くなっています。一方、進出する企業については、相当規模の宅地を借地して利用することとして、地権者との個別での借地契約より、共同利用街区としてまとめて契約を行うことを条件としている企業が多くなっています。そこで、以下の取り組みを実施しました。

- ①現在、地権者の土地利用意向は、売却や自己利用より、借地を望むケースが多いことから、面整備と一体となった上物ありきの計画を行い、企業の進出時期、敷地規模、土地形状、道路接続条件等のニーズに柔軟に対応した街区構成を行った。
- ②企業が必要とする敷地規模が大きかったことから、借地希望の権利者の土地を集約し、企業誘致の受け皿として、地権者による土地の管理運営法人を設立し、

進出事業者と借地契約を結ぶこととした。そのために、土地賃貸の分科会を設けて、管理運営法人の仕組み、税制等の勉強会を開催するとともに、土地の集約方法に際しては、土地利用意向アンケートを実施し、権利者の同意に基づき柔軟な換地対応を行った。

## 4. おわりに

東山丘陵地区や寝屋南地区でのエリアマネジメントを実施して、みえた課題は以下のとおりです。

#### ①まちづくり活動の持続性の維持

- 強力なエンジンとなるスタッフ・支援組織が必要

#### ②自治会との連携

- 自治会役員の交代により、自治会と協議会の関係の不明確さ

#### ③活動資金の確保

- 立ち上げ時は何とかなるが、ランニングコストの確保が問題

これら課題の解消に向けて、地主・住民・施設管理者など当地区に関わるすべての人々が、持続発展的に魅力あるまちを育て上げていくという強い意志のもと、協力支援を続けていく必要があります。

# ちきりアイランドのまちづくり ～つくり、育てるエリアマネジメント～



ちきりアイランドは、港湾物流機能の強化・拡充、背後街地の環境改善及び緑地等水辺環境の整備を図り、併せて地域の振興に寄与することを目的として、岸和田市の沖合で整備が進められている約140haの埋立地です。

事業主体は、大阪府港湾局ですが、埋立造成及びまちづくりを都市整備推進センターが担っています。平成19年4月に岸和田市貝塚市クリーンセンターがいち早く稼働を始めて以降、第1期製造業用地も順調に企業が進出しており、既に12社の企業が操業を開始しています。また平成21年12月には第1期保管(貨物倉庫)施設用地の一部(約8ha)も竣工し、今後も数多くの企業進出が見込まれています。



このような状況の中、ちきりアイランドも、埋立地を「つくる」だけの段階から「育てる」ということを意識したまちづくり(エリアマネジメント)が必要となってきています。

現在、大阪府港湾局、岸和田市、都市整備推進センターの3者で構成する「ちきりアイランドまちづくり会」で、他地区の事例等を調査し、まちづくり活動の目的を3つに集約し、取り組んで行くことを検討しています。



目的	活動メニュー
①安全で快適な環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災活動</li> <li>●安全向上活動</li> <li>●清掃、美化活動</li> </ul>
②産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業交流活動</li> </ul>
③地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベント活動</li> </ul>



具体的な活動内容については、今後進出企業を交えて進めていくことが望ましいと考えており、ちきりアイランドという地区特性や埋立地であることなどを十分に踏まえ、将来のまちづくり活動や取組みを選択していく必要があります。

今年度は、6月に進出企業等が参画する阪南2区まちづくり協議会の設立総会が開催される予定です。今後は、地域の価値を高めるためお互いの信頼関係を築いたうえで、ちきりアイランドのまちづくりルールを策定し、地域を育てていくエリアマネジメントの取組みを進めていきたいと考えています。



## 河川の賑わいづくり 中之島バンクス

水辺の賑わいを創出するため、当センターでは水都大阪の様々なイベントに協力しています。

水都大阪2009イベントに引き続き2010年においても、平成22年12月11日(土)から平成22年12月25日(土)までの15日間、水都大阪水と光の空間プロジェクトとして開催された『Light of Riverside』、その内の「八軒家浜キャンドルナイト」及び「ラバーダック@中之島バンクス」の2会場で開催したイベントに協力いたしました。

今回開催されたイベントの趣旨は大きく分けて2つあります。まず一点目が、水辺での継続的なまちづくりのための実証実験として実施。今後は、地域や地元、市民や企業等が中心となった展開を推進するため、人づくりの推進や各主体の役割と責任分担を明確にしたスキームの構築を目指します。二点目が、水都大阪の多様な魅力や回遊性の向上を目指し、「賑わい空間」から「憩い空間」へ、「憩い空間」から「賑わい空間」へという多様な楽しみ方を提供し、水都大阪の回遊性の向上を図ることを目的としました。

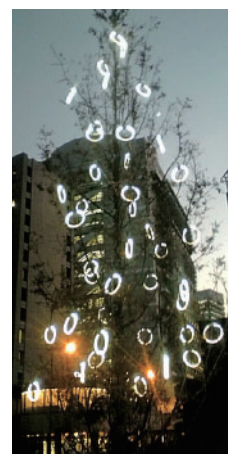
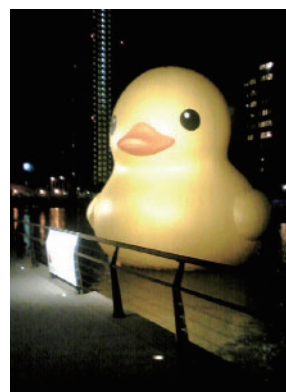
八軒家浜キャンドルナイトのイベントでは、キャンドルの設置や後片付けを地元町会や小学生など多くのボランティアの方々にご協力いただきました。

中之島バンクスでのイベントでは、水都大阪2009でも八軒家浜に係留し大好評だったラバーダック(※)を中之島バンクスのちょうど中央付近にあたるシンボルツリー(メタセコイア)の真正面に係留し、そのあまりの大きさに来る人達を驚かせ、その愛くるしい表情に老若

男女を問わず癒されていました。ラバーダックグッズの販売も盛況で、中でも連日販売個数を限定していたレプリカ(ラバーダックのミニチュア)は販売開始約2時間前から列が出来るほどの大盛況振りでありました。

期間内の延べ来場者数は11万人を超え、中之島バンクスにおける賑わい創出の可能性を改めて感じました。

これからも水辺の賑わい創出に関連した事業にセンターとして出来ることを積極的に取り組んでいきます。

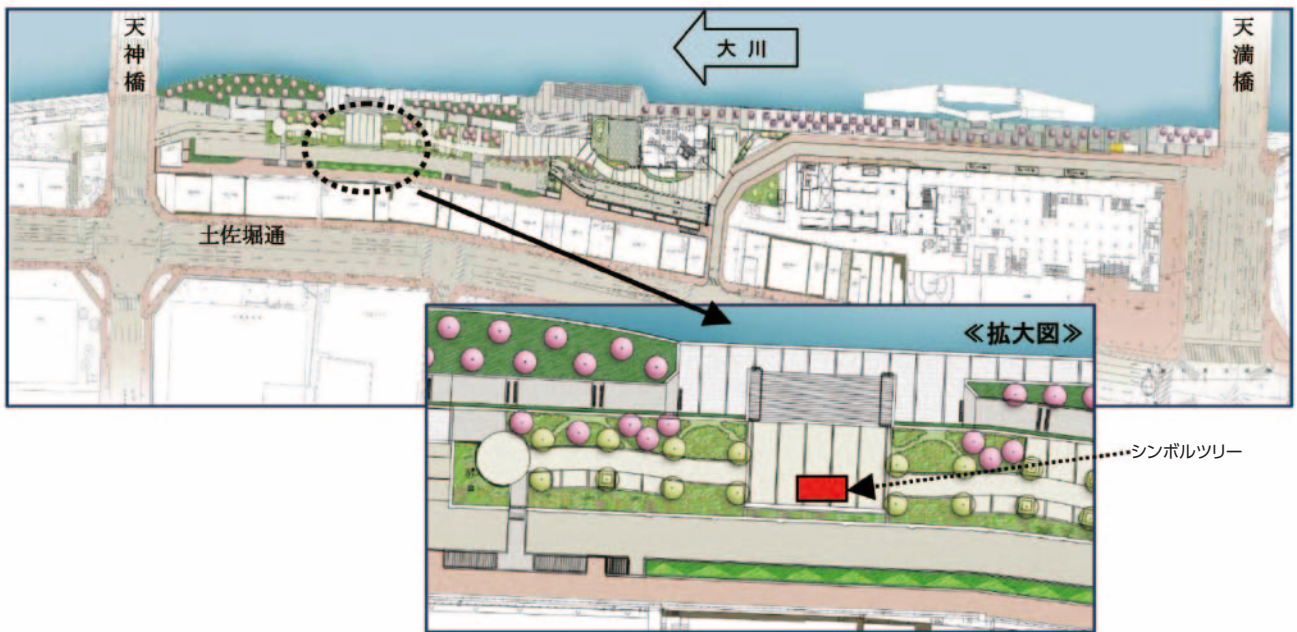


### 〈ラバーダックについて〉

作家はフロレンティン・ホフマン氏。オランダ・ロッテルダムを拠点とし、公共空間で巨大な作品を展示するという活動を継続的に行っているアーティストであり、このラバーダックもその一つです。作品コンセプトは、このフローティング・ダックは、政治的意味合いで分割される国境などこの世に存在しないことを知っています。そして、このアヒルが持つ、世界の緊張を和らげる癒しの特性は、あらゆる世代に優しく、親しみやすく受け入れられることでしょう。既に日本以外では、フランス、ブラジル、ベルギーなどで展示されてきました。



# 八軒家浜にドリカムツリーが植樹されました



中之島の堂島川沿いをみどりの遊歩道でつなぎ、回遊性を高め、みどり豊かなにぎわい空間の創出を目指す「中之島にぎわいの森づくり」プロジェクトがすすめられています。

このプロジェクトのキックオフイベントとして、大川沿いにある八軒家浜で平成22年12月5日(日)、イルミネーションで飾られたシンボルツリーの点灯式が『DREAMS COME TRUE』の中村正人さんも参加して2,000人の来場者とともに開催されました。(イルミ

ネーションツリーは12月27日まで毎晩点灯されました。)

イベントの開催にあたって、八軒家浜で『天満八軒家駐車場』を運営管理している当センターも、舞台・音響・照明等の設営や会場整理警備で協力しました。

今後、八軒家浜のシンボルとして『ドリカムツリー』が皆様に愛され、名所のひとつになることを期待しています。皆様も是非一度「ドリカムツリー」を見学にいらして下さい。

# 石畳と淡い街灯まちづくり支援事業

～大阪府内の歴史・文化的資源を活かした魅力創出の取り組み～

大阪府都市整備部市街地整備課

## 1 事業の背景

かつて大阪は、内外交易の玄関口として栄え、江戸時代には、諸国物資の中央市場として発展を遂げてきました。現在では、近隣府県と連担する広域的な都市圏を形成し、府内全域で都市化が進んでいます。その一方で、府内には歴史・文化的な資源も数多く残されていますが、その多くは、市街地の拡大によって近代的な街並みに埋もれ、かつての賑わいが失われつつあります。

## 2 事業の立上げとモデル地区の選定

大阪府では、大阪のまち全体を「ミュージアム」に見立て、府内各地にある「歴史的な街並み」や「豊かなみどり・自然」など、魅力的な地域資源を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、それらを結びつけ、内外に情報発信する「大阪ミュージアム構想」を推進しています。この構想の一環として、地域の魅力創出の取り組みを加速させるため、平成20年度に「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」を立ち上げました。

本事業は、これらのまちづくりに取り組むモデル地区の公募を行い、大阪府が支援することで、大阪に対する誇

りや愛着を高め、地域の景観づくりや賑わいづくり等の継続的な発展、地域の魅力、大阪の魅力を全国に発信することを目的としています。

モデル地区の選定にあたっては、市町村等の団体を対象に、「まちづくりプラン」を公募し、学識経験者などで構成された「歴史・文化的まち並み再生補助金モデル地区審査会」で6地区を選定しました。

## 3 歴史・文化的資源を活かした取り組み事例紹介

選定された6箇所のモデル地区は、事業期間である平成23年度末までに実施する予定の歴史・文化的資源を活かす事業を「まちづくり実施計画」にまとめ、現在、その実現に向けて取り組んでいます。

「まちづくり実施計画」の内容としては、歴史街道や地区内の名所となるスポットにおける石畳と淡い街灯の道路整備や無電柱化整備などの景観向上を目指した事業をはじめ、地区をPRする観光案内板やまちづくり拠点整備等、今後の地区のまちづくりの発展に必要な事業が盛り込まれており、その種別は多岐に渡り各地区で異なります。

今回、6箇所のモデル地区から、「箕面市 阪急箕面駅周辺箕面公園沿道地区」と「柏原市 太平寺地区」について、そのまちづくりの背景と取り組みについて紹介させていただきます。

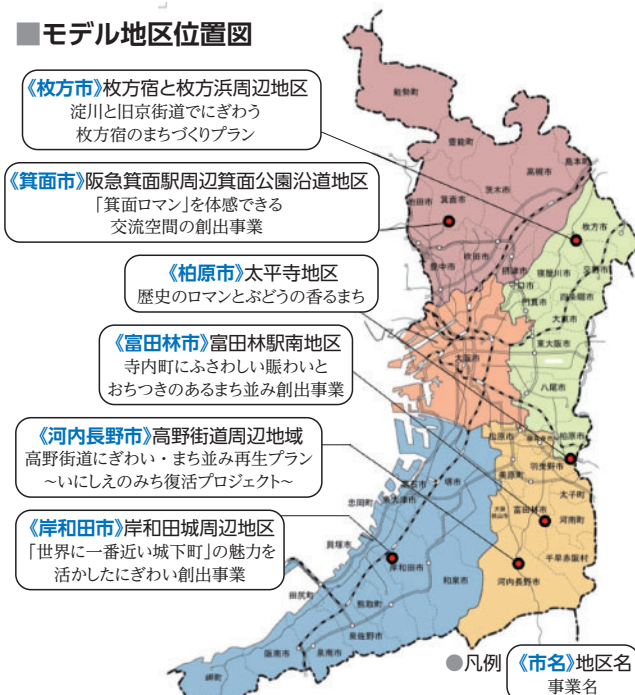
### (1) 明治の森へいざなうまち

#### 箕面市「阪急箕面駅周辺箕面公園沿道地区」

当地区は、阪急箕面駅から「明治の森箕面国定公園」に通じる滝道を中心とした広域交流・地域商業の拠点となる箕面の顔となっています。滝道は、その沿道に明治の趣のある建物が並ぶとともに、大阪府内で唯一「日本の滝100選」に選ばれた箕面大滝へ続く観光スポットとして、年間100万人以上の観光客が訪れます。

当地区における「まちづくり実施計画」は、明治情緒あふれるまちづくり「箕面ロマン」をコンセプトに、地区が有する箕面大滝の美しい自然や橋本亭などの貴重な歴史・文化的資源を活かし、更に魅力あふれたまちづくり

### ■モデル地区位置図





を実現するため街並みの整備と賑わい空間を創出する事業に取り組んでいます。

具体的には、滝道の魅力向上を目的として、明治の街並みを復元させるため無電柱化に併せてガス灯風街路灯や道路の景観舗装を実施します。さらには、明治から昭和初期にかけて行われていた、箕面川沿いに木組みの上で食事や風景を楽しむ「川床」を復活させる取り組みを平成22年度に実施し、多くの観光客で賑わいました。平成23年度以降も引き続き実施することを予定しています。

また、駅前周辺の商店街の活性化・賑わい創出のため、シェルター・アーケードを明治時代を彷彿させるデザインに修景するとともに、駅前広場内に地域のイベント広場として「わいわい空間」を整備し、地域住民と来訪者の交流スペースを創出します。



滝道ガス灯  
整備パース図



川床の実施風景

## (2) 歴史のロマンとぶどうの香るまち 柏原市「太平寺地区」

当地区は、古くから大和と難波を結ぶ交通の要所であり、その昔、聖武天皇が難波宮へ行幸の途中参拝し、東大寺の大仏が造られるきっかけとなったと云われる大仏があった智識寺の跡や、六歌仙の一人である在原業平が、伊勢物語に登場する「高安の女」のもとへ八百夜も通いつめたという「業平道」が伝えられるなど、歴史のロマンであふれています。

また、大阪ぶどうの発祥の地で、西日本最古のワイナリーがあり、柏原ぶどうを利用した柏原産ワインは、大正初期から90年以上にわたり醸造されています。

地域住民はこれらの地域資源を守り育て、地域の活性化につなげていくため、平成23年3月に「太平寺わしらの

まちづくり委員会」を設立し、地区の将来のビジョンづくりや各種まちづくり活動に取り組んでいます。

市の役割は、まちづくり組織へのコーディネーター派遣、地区の将来ビジョンに基づく基盤整備として、ぶどう畑を間近に感じて智識寺跡を一望することができる展望広場の整備や、「業平道」の景観舗装整備、ぶどうの収穫シーズンには多くの観光客が訪れる「ぶどう棚の小道とせせらぎ水路」整備など、地域の魅力向上への取り組みに対する支援を行っています。

今後は、来訪者のための地区内散策マップの作成、ワイナリーやソムリエと連携し、地域住民の手づくりによるまち歩きツアーの実施など、住民と行政が一体となって地域の魅力発信の取り組みを進めていきます。



「太平寺地区」の古い街並み風景



ぶどう棚の小道とせせらぎ水路パース図

## 4 おわりに

平成23年度には、全ての整備事業が完了し、6箇所モデル地区と大阪府が連携・協力し、大阪府内に各地区の魅力をPRする事業を検討しています。その内容としては、4月から6月にかけて各地区で「とっておきの大阪まち歩きツアー」の実施、8月から11月にかけては地区の特産物や地域資源を活用したスタンプラリーを実施することを予定しています。

平成24年度以降は、各地区が本事業を契機としたまちづくりの発展と魅力発信に取り組んでいきます。

## 活動①

### まちづくり初動期活動サポート助成制度 & まちづくりアドバイザー派遣制度のご案内 ～地域の方々のまちづくり活動を支援します!～

まちづくりを進めていきたいと考えているが、「まちづくりのノウハウや専門的知識がない」、「先進事例の視察や、勉強会に講師を招きたいけれど資金がない」などの課題を抱えておられる地域住民が主体となったまちづくり活動団体に対し、初動期の活動段階を支援する制度を用意しています。

支援の対象となる活動は、

- ①地区計画や建築協定などの「ルールづくり」によるまちづくりの活動
  - ②まちなみの形成や区画整理などの「街の形づくり」によるまちづくりの活動
- などです。



#### まちづくり初動期活動サポート助成

まちづくりの意識啓発段階からまちづくり構想作成等の段階までの活動に要する費用の一部を助成します。

(年一回)

※平成23年度の募集は終了しています。

##### ●はじめの一步助成部門

視察、講習会、勉強会等の意識啓発等に必要な経費を助成

10万円/回、合計2回を限度

##### ●初動期活動助成部門

まちづくり構想の策定やルールづくりなどを進めるために必要な経費を助成

100万円/回、合計3回を限度とし、助成金額の合計は200万円を限度

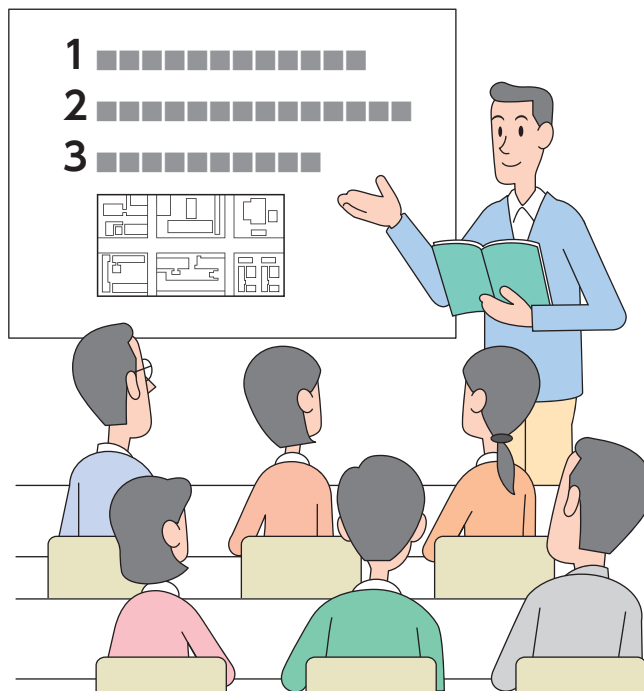


\*詳しい内容は、下記までお問い合わせください。

#### まちづくりアドバイザー派遣

まちづくりの専門家(アドバイザー)をまちづくり活動団体の勉強会や検討会などの場へ派遣し、まちづくりに関する指導や助言を行う支援です。〈随時受付〉

派遣に要する費用(限度3万円/回)をセンターが負担します。



#### 問い合わせ先

(財)大阪府都市整備推進センター まちづくり支援室 TEL 06-6930-0260  
メール omsk@toshiseibi.org ホームページ <http://machi.toshiseibi.org/>





## 活動②

## まちづくり初動期活動サポート助成《事例紹介》

平成22年度は12団体に助成を行いました。

その中から、けさたと会(高槻市)と竹内街道にぎわいづくり協議会(太子町)の活動をご紹介します。

はじめの  
一歩  
助成部門

## その1

## 富田地区における歴史資源を活かしたまちづくり活動《けさたと会》

## ●けさたと会の意味は？

みなさん、けさたと会をご存知ですか。

けさたと会とは、高槻市富田地区を詠んだ「けさたとのめやあやめの とんださけ」という上から詠んでも下から詠んでも同じように詠める回文にちなんだものです。この有名な回文俳句は、江戸時代、松尾芭蕉の高弟だった宝井其角が詠んだものです。この回文の意味は「今日は朝から誰はばからず酒の飲める日だ。さあ、あやめの富田酒をたんと飲もう」という、酒好きの其角らしい句です。この句からもわかる通り、富田の酒は江戸にも知られた銘酒でした。

## ●富田地区とは？



このように私たちが活動している、富田地区には造り酒屋と重要文化財の普門寺をはじめとして神社仏閣が多数残り、江戸時代には商業のまちとして繁栄し、歴史を感じることができる町です。

また富田地区は、JR摂津富田駅と阪急富田駅の徒歩生活圏となっており、大阪駅から20分、京都駅から25分と非常に交通利便性の高い地区となっています。

このような歴史資源があふれ交通利便性の高い「われらが富田」のすばらしい歴史資源と造り酒屋の歴史の足跡を掘り起こし、また私達の子どもや孫の世代にも引き継ぐため、新しいまちづくりに取組むために結成し、「富田地区の歴史・文化の発掘」「まちおこし」などを行っています。

## ●サポート助成応募のきっかけ

今回、大阪府都市整備推進センターのサポート助成を活用しようとしたきっかけは、富田自治会連合や富田商業協同組合とけさたと会などで構成している富田地区交通まちづくり研究会に会員を派遣し、様々な地域主体のまちづくりについて研究したことがきっかけとなりました。この研究会で議論されたまちづくり活動、特に歴史資源を活かしたまちづくりについては共感し、ぜひ、わがけさたと会で担っていきたいと考え今回、大阪府都市整備推進センターのサポート助成に応募したところです。

## ●灯ろうまつり

地域の皆様に富田のまちづくりを考えていただくきっかけとなるイベントを昨年10月17日に開催しました。

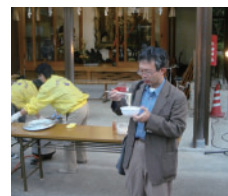
夕暮れから神社仏閣を灯ろうの明かりで照らしたり、富田地区にちなんだ酒かすうどんや水まんじゅうを考えました。酒かすうどんについては300食を用意していましたが、反響が多くすぐになくなってしまふほどでした。

同時に、富田まちづくり講演会を開催し、

講師謝礼金にサポート助成を活用しました。



今後も富田の歴史資源を活かしたまちづくり活動を続けていきますので、大阪府都市整備推進センターさんの協力とともにみなさんの暖かい応援をよろしくお願いいたします。



## その2 竹内街道沿道のにぎわいと景観形成の仕組みづくりの取り組み 《竹内街道にぎわいづくり協議会》

### ●地区の現状と課題

日本最古の官道(国道)と言われている竹内街道は、堺市大小路から大阪平野を横断し、竹内峠を越えて奈良県葛城市の長尾神社に至る、全長約26kmの街道です。その内、太子町内では約4.5kmが位置しており、沿道には孝徳天皇陵や国登録文化財である大道旧山本家住宅をはじめ、伊勢燈籠・地藏堂などの歴史的な資源が数多く残っています。



老朽家屋や空き家の将来対策が課題

一方、少子高齢化によるコミュニティー活力の低下や空き家の増加、生活スタイルの変化に伴う新築家屋の増加、農家の高齢化による周辺農地の遊休地化などが地域の課題となっています。

### ●協議会の設立へ

そこで地元住民が平成21年6月に“竹内街道にぎわいづくり協議会”を設立。環境づくりや修景づくりを積極的に進めるなどして「にぎわい」と「もてなし」のある活力あるまちづくりへの取り組みを進めています。

### ●これまでの取り組み

これまでも他所のまちづくり事例研修や大学連携によるセミナー、街道を花でいっぱいにして地域ボランティア団体との花植えなどを行ってきました。平成22年度は、センターの『まちづくり初動期活動サポート助成』を活用し、街道沿道の土地利用計画について、大阪芸術大学と共に検討してきました。①景観②住環境③空き家対策④街道整備⑤情報発信・にぎわいづくり創出の観点から、地域がもつ固有の景観や文化伝統などを尊重した基本方針を定め、今後具体的なメニューづくりを進めていく指針として活用していきます。



勉強会、学生連携の取り組み



地域再発見フォーラム



灯路祭り テーマは「再発見と地域の魅力づくり」

また、往来文化がもたらしたにぎわいと風情あるたたずまいを継承していこうと始めた“灯路祭り”。昨年実施の第2回目では、地域再発見フォーラムとして郷土史家による「科長の里の昔話」講演会や、“街道と庭”をテーマに空き家(古民家)を開放したまちなみ景観への意識づくり、その他軒下ギャラリーやたいし聖徳市の出店などを実施しました。街道を灯ろうで浮かび上がらせる中、来訪者からは「太子の人たちのすばらしい気質に触れた」「町の人たちの協力、心づかいが温かく思えた」等多数の意見をいただきました。単に祭りとして楽しむだけではなく、地域の魅力を発信し、景観保全に対するきっかけづくりにもつながるなど、住民ひとり一人の意識にも変化が現れつつあります。

他地区団体との交流も自分達の住むまちを再発見する良い機会となりました。特に、奈良県葛城市の“竹ノ内街道保存会”とは竹内街道が取り持つ縁で互いの地域を視察し、今後の交流に期待が持たれました。また、地元上宮太子高校の生徒や地域住民と一緒に街道の清掃活動を行いました。



地域の清掃活動や他団体との交流

### ●今後の活動

活動は芽生えたばかりです。今後、その輪を更に広げ、根付かせることが重要です。将来的にはまちづくりのルール等景観形成に係る仕組みづくりや空き家の利活用に関する検討を進め、竹内街道沿道にふさわしい魅力ある地域づくりを目指します。





## 活動③

## 密集市街地サポート助成制度のご案内

～木造賃貸住宅の建替え等を支援します!～

昭和30年代から40年代に建設された多くの木造賃貸住宅(文化住宅やアパートなど)は、老朽化が進み、地震による倒壊や危険性、住環境の悪化などの問題を抱えています。

大阪府や市においては、このような街を安全で快適な街へ再生する取組みが進められています。

センターにおきましても、地震時に倒壊の危険性の高い老朽建物の除却を促進し、良好な環境に寄与する土地活用が図られるよう建物所有者への支援制度を用意しております。



阪神・淡路大震災では死者6,400人のうち約8割が建物の倒壊が直接の原因となっています。

## 密集市街地サポート助成

## ①建替え等相談段階支援

老朽建築物等を所有されている方が、建替えやその他土地活用を検討される際に、法手続き・費用・税金などの課題について専門家へ相談するために必要な費用を助成します。

## 【助成内容】

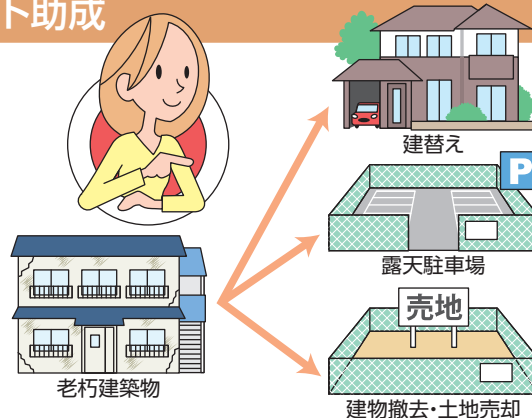
- 専門家に相談された場合に専門家に支払われる費用に対して3万円限度に助成金を交付します。
- 助成回数／原則1回

## ②建替え検討段階支援

老朽建築物等を所有されている方が、建替えの可能性の検討(概略の建築計画や収支計画など)を行うために必要な費用を助成します。

## 【助成内容】

- ご自身で専門家に依頼された場合に専門家に支払われる費用に対して30万円限度(共同建替えの場合は2回の合計で100万円限度)に助成金を交付します。
- 助成回数／原則1回(共同建替えの場合は原則2回)



## ③地元組織検討段階支援

老朽建築物等を所有されている方々が地元組織をつくり、面的な建替えの可能性の検討や建替えを促進するための規制・誘導方策等の活用検討をされる場合にその活動費用を助成します。

## 【助成内容】

- 地元組織で専門家に依頼された場合に専門家に支払われる費用に対して1回100万円限度(3回の合計額は200万円限度)に助成金を交付します。
- 助成回数／3回限度

※費用助成の代わりに、センターから専門のコンサルタントを派遣することも可能です。

※対象地区は、堺市、豊中市、東大阪市、寝屋川市、守口市、門真市の指定された地区となります。

※詳しい内容は、下記までお問い合わせください。

## 問い合わせ先

(財)大阪府都市整備推進センター まちづくり支援室 TEL 06-6930-0260  
メール omsk@toshiseibi.org ホームページ <http://machi.toshiseibi.org/>

## 寝屋川市萱島東地区のまちづくり

寝屋川市萱島東地区(48.7ha)は、道路や公園などの都市基盤が未整備なまま昭和40年前後に建てられた木造アパートや文化住宅などが建ち並ぶ密集住宅地区です。

昭和57年に地元住民代表を中心とした「萱島東地区まちづくり協議会」を立ち上げ、住民との協働によるまちづくりがスタートしました。協議会では、地域の問題点などを整理しながらまちづくり計画を作成し、その計画を基に市が昭和59年に整備計画の大臣承認を得て、主要生活道路や公園広場等の整備と老朽木造賃貸住宅の良好な建替えを進めています。

現在の整備状況としては、主要生活道路(幅員6.7m)が、73箇所(2,976㎡用地取得)の拡幅整備を進め、全体の整備率としては約58%となっています。公園整備は、従前水路を活用した親水公園(4,718㎡)と老朽木造賃貸住宅跡地に公園(524㎡)の2箇所の整備を行っています。建替促進事業は、共同や協調建替えにより9箇所です老朽木造賃貸住宅の建替えが進み、165戸の新たな鉄筋コンクリート造の賃貸共同住宅に生まれ変わっています。

平成8年の計画変更で新たに設けられた拠点的開発地区では、建替え建物の従前居住者の受け皿住宅として府営住宅1棟84戸や大阪府住宅供給公社の特定優良賃貸住宅2棟132戸とコーポラティブ住宅126戸の建設が行われています。

また、平成16年に都市再生緊急整備地域第四次指定を受けたことがきっかけで、全国で初めて防災街区整備事業が行われるなど建替え事業が進められています。



## 公園の整備方針

平成18年3月末に民営化移転した市立保育所跡地利用について、市内部に「あやめ保育所跡地利用検討会」を設置し協議を開始しました。地元7自治会から「跡地を公園に」との要望書や当該地区が萱島東地区密集市街地の中央部に位置することなどから、平成19年10月に密集市街地における防災性の向上や地域の活性化を図るために、防災機能を備えた街区公園とする整備方針が決まりました。

公園の計画づくりは、住民参加によるワークショップ方式を採用し、国の制度である住宅市街地総合整備事業を活用する計画づくりが進められました。

## ワークショップによる計画づくり

計画づくりは、子供からお年寄りまで利用できる地域に相応しい公園づくりを目指し、地元8自治会からの呼び掛けにより、小学生から80歳を超える方々延べ85名の参加でワークショップによる公園の計画づくりが始まりました。

実際のワークショップは、市・大阪府都市整備推進センター・専門のコンサルタントも参加して、4つのグループに分かれ協議を行い、最終的に各グループの意見をひとつにまとめる方法で、合計3回開催されました。

- 第1回目は、参加者全員が公園予定地と周辺を見て歩き、現地観察した内容や公園づくりの方向性を図にまとめ意見交換をしました。
- 第2回目は、市から公園整備や管理について説明を行い、具体的な計画案について話し合いました。
- 第3回目は、今まで出された意見を集約し、コンサルタントより提示があった模型を見ながら、全体意見としてひとつにまとめた公園の計画案を作成しました。

公園の名称についても話し合われ、あやめ保育所時代の思い出を継承する「萱島あやめ公園」とすることになりました。





## 公園のコンセプト

### (1) 防災機能を備えた公園

- 密集市街地の中央部に位置することから災害時に一時集合(安否確認)場所として活用するため中央に広場を設置
- 地下に40tの耐震性貯水槽などの防災施設の設置

### (2) 誰もが憩い遊びを楽しめる公園

- 子供からお年寄りまで、だれもが利用できる複合遊具や健康遊具を設置

### (3) 防犯に考慮した公園

- 安全安心の観点から道路側はすべてオープンにして死角をなくし、3面が住宅に隣接していることから周囲に高さ2m以上のフェンス設置と中木を植樹し周辺住宅に配慮

### (4) 地域に愛される公園

- 従前の市立あやめ保育所が地域に親しまれてきたことから、公園名を「萱島あやめ公園」と命名
- 保育所時代の思い出のサクラの木を1本残し、中央のシンボルツリーには京阪萱島駅同様にクスノキを植樹

#### 公園の概要

面積	2,038㎡
防災施設	40tの耐震性貯水槽・非常用トイレ2基・防災倉庫
主な樹種	桜・クスノキ・シラカシ・ヤマモモ・コブシ・ハナミズキ等
主な施設	複合遊具・健康遊具・サークルベンチ・スイング遊具・花の滝等

## 公園の整備工事

公園の工事車両の進入にあたっては、前面道路が幅員約4mの駅前から繋がる商店街になっています。また、一方通行と通行時間規制があることから、安全対策に気配りをしながら地域の協力を得、事故も無く工事は進められました。特に、40tの耐震性貯水槽はいくつかに分散搬入し、現地で組み立てる方法を採用されましたが、今回のような密集市街地内の狭隘道路を通る工事においてはやむを得ない工事方法だと考えます。



## オープンイベント

平成22年4月4日にオープンイベントの開催

第1部は、市が主催の式典で、市長、市議会代表、地元代表の方々などが参加して、テープカットや記念植樹が行われました。



第2部は、地元自治会主催で、地元の小学生や中学生による楽器演奏や、地域住民の和太鼓演奏などが行われました。

イベント当日は、地域の方が500人以上も参加され、一時は道路まで人が溢れる状況となり、多くの方々が公園の完成を喜び合いました。



## 公園の利用と管理

公園の日常管理は、地元の自治会が中心となり、植木の水やり、清掃、防犯の見回りなどの担当を決めて行われています。いつもきれいで住民からの苦情やトラブルがほとんどない状況です。

公園の利用は、周りに緑や広場が少ない地域なので、普段から小さな子供連れの親子やお年寄りなどの姿が見られます。放課後には小学生達が遊び場を求めて集まり、たくさんの人たちが遊ぶ光景が見られます。また、昨年の夏には、地域の盆踊り大会や防災訓練などが行われています。

公園が完成してから大きな火災や地震は起こっていませんが、災害時に地域の安全のために活用され、いつまでも地域に愛着の持たれる公園であることを願っています。





# 『ちきりアイランド』ランドサインが完成しました!



平成23年4月現在のちきりアイランド

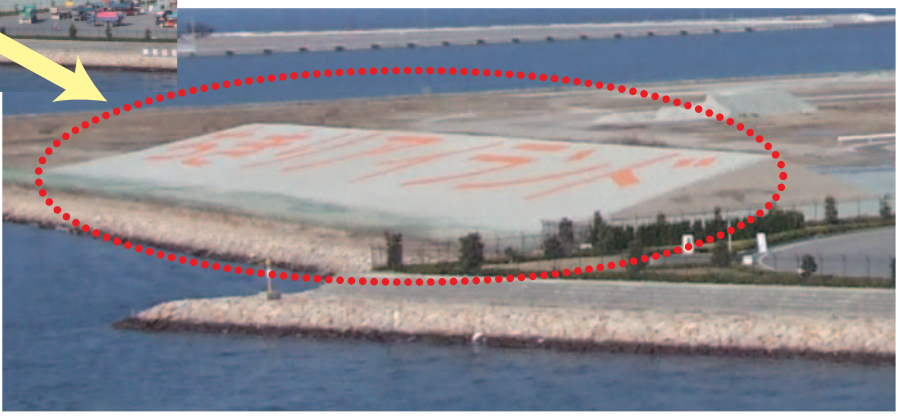
阪南2区の魅力づくり・顔づくりとして、「ちきりアイランド(阪南2区)まちづくり会」(大阪府港湾局、岸和田市、都市整備推進センターで構成)では、これまで、案内板の設置や万能ペイの絵画等に取り組んできました。今回は、その一環として、平成23年2月に広大な埋立地を活かした『ちきりアイランド』ランドサインを築造しました。

ランドサインは、縦20m、横160mの大きな土の土台の上に水性アクリル樹脂塗料で『ちきりアイランド』という文字を書いたもので、誰もが閲覧可能なインターネットの航空写真サイトで確認できます。『ちきりアイランド』の文字を見つけていただき、多くの方に少しでも関心を持ってもらうことで魅力づくり、顔づくりに役立てるとともに進出企業の促進の一助になることを期待しています。



## ◆ランドサインの仕様

構造	土の土台を製作し、砕石を平均20cmの厚みで敷き均した上に、水性アクリル樹脂塗料をローラー塗布しました。
土台の大きさ	約160m×約20m
1文字の大きさ	約17m×約17m
文字の太さ	約2m





## 平成22年度も干潟観察会を開催しました!

ちきりアイランドの目的のひとつである環境創造について、理解を深めていただくため、平成22年7月10日(土)「ちきりアイランド人工干潟観察会」を開催しました。

ちきりアイランドの干潟は岸和田市内で唯一の親水空間として位置付けられています。観察会の開催にあたっては、市の広報誌やホームページで公募した結果、定員(40名)を超えるたくさんのご応募をいただき、市民の皆さんの関心の高さが伺えました。

観察会は、平成19年以降毎年開催を重ね、平成22年度の観察会では新たな取組みとして、『小型地曳き網によるアオサの採取』を体験するとともに、午後からは会場にて

『干潟の生き物の生息環境・標本づくり等についてのお話会』も併せて実施しました。

人工干潟では夏季に過剰にアオサが増殖し、これによって他の生物に悪影響を及ぼすことが環境生物調査の取組みでわかってきました。このため、平成23年度は、人工干潟に繁茂するアオサを採取し、採取したアオサを乾燥させることで堆肥化する取組みを実施したいと考えています。地域の資源を活かした循環型社会への取組みを試行しながら、皆様に愛される『ちきりアイランド』のまちづくりを進めていきます。



小型地曳き網によるアオサの採取の様子



干潟生物の観察会の様子



貝類の標本づくり



# INFORMATION

## お知らせ



### 大阪府土地区画整理組合連合会総会開催のお知らせ

平成23年7月15日(金)にプリムローズ大阪にて「平成23年度通常総会及び協議会」を開催致します。今年度の事業視察地は岸和田市尾生久米田地区及び下松地区を視察する予定です。連合会加盟

の土地区画整理組合の関係各位並びに賛助会員の皆様のご参加をお待ちしておりますので、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

※詳細は大阪府連事務局(都市整備事業課)までお問い合わせ下さい。



### 第27回大阪府まちづくり功労者賞の感謝状贈呈式を開催

★おめでとうございます★

大阪府では、住民参加のもと創意工夫をこらした魅力あるまちづくりの推進に顕著な功績のあった団体・個人に感謝状を贈呈しています。

今回は平成23年3月18日(金)に大阪府公館において、知事の感謝状が贈呈され、受賞者による活

動内容の紹介も行われました。受賞者は晴れやかな笑顔とともに、より一層魅力あるまちづくりに取り組むことを決意されたこととご推察致します。

以下にめでたく受賞された方々をご紹介します。



#### 受賞された方々(6団体)

(順不同)

東岸和田駅東地区防災街区整備事業組合(岸和田市)	真上台ガーデンヒル住宅地建築協定運営委員会(高槻市)
コモシティ星田西3丁目住宅地区建築協定運営委員会(交野市)	高槻市建築協定地区連絡協議会(高槻市)
高槻天神山地区建築協定運営委員会(高槻市)	東大阪・鴻池JAZZ実行委員会(東大阪市)

### まちづくり協議会の発足〈JR島本駅西地区まちづくり協議会〉

平成20年3月にJR京都線の新駅として「島本駅」が開業しました。この新駅開設を契機に駅西側地区において、駅前地区にふさわしい計画的なまちづくりの必要性がクローズアップされ、少しずつまちづくりの輪を拡げてられました。そして本

年4月に本格的にまちづくりを検討するため、地元地権者を主体とする「JR島本駅西地区まちづくり協議会」を発足されました。当地区が地域に親しまれ、愛される「我がまち」となるよう、心より祈念致します。





## まちづくり協議会の発足〈藤井寺駅周辺まちづくり協議会〉

近鉄南大阪線藤井寺駅周辺は、南河内の商業核として発展してきましたが、近年は社会情勢の変化に伴い商業機能や賑わいの衰退が懸念されていました。そのような中、駅前の大型商業施設の建替が検討されたことなどを契機に、商店会、住民、事業者有志による「まちづくり勉強会」を開催し、藤井寺

駅周辺の将来像について検討を重ねてきました。

今後は、街区再編や大街区化を視野に入れた、都市基盤の再整備、魅力ある街並みづくり、商業の活性化等に取り組むため、市民、事業者のまちづくり活動の母体となる「藤井寺駅周辺まちづくり協議会」が本年6月8日に設立されました。



これから益々、取り組みが活発化し、活気あふれるまちづくりが実現することを心より祈念致します。

## 組合区画整理事業が本格的にスタート!〈豊中市上新田土地区画整理組合〉

豊中市上新田地区において、本年3月の事業認可を受けて、区域面積約4.2haで区画整理事業が本格的にスタートすることとなりました。当地区は平成19年5月の早期組合設立により事業実施に向けた執行体制を確立され、良好な住環

境の整備を目指し事業計画の検討を進めてこられました。当地区が周辺の住宅地と調和した魅力ある街並みを形成されることと推察致します。ここに当該事業が無事完遂されることを心より祈念致します。



## 視察研修会を開催しました

平成23年1月25日(火)に寝屋川市まち政策部都市再開発事業室の皆さまのご協力のもと、「香里園駅東地区第一種市街地再開発事業」の視察研修会を開催しました。

香里園駅東地区は、これからの時代にふさわしい健康生活拠点づくりをコンセプトとし、香里園のイメージをいかした駅前にふさわしい魅

力あるまちづくりが行われています。

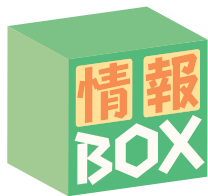
研修会当日は多数の参加があり、事業の概要説明の後、超高層免震タワーマンション「ザ・香里園タワー」や駅前交通広場などの現地視察を行いました。



## 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震

このたびの「東北地方太平洋沖地震」で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

被災地の1日も早い復興を心より祈念しております。当センターでは、大阪府受入避難者支援基金と日本赤十字社に災害義援金として合計100万円を寄附いたしました。



# 『市町村技術職員研修会』

～市町村職員向け～ 気軽に受講できる技術研修の開催～〈特定事業部〉

## はじめに

当センターでは、平成20年度から府内42市町村の技術職員を対象に技術研修を実施しています。

近年、団塊世代の退職等に伴うベテラン職員の技術・ノウハウが失われる一方、限られた人員の中で、市町村独自の技術職員研修や個々の職員の技術能力の研さん、向上に取り組む体制作り等が難しくなっています。

そこで、当センターでは、平成19年度に府内42市町村に技術職員の研修実施状況、職員研修に関する懸案・要望等について、アンケート調査を実施しました。アンケートには、「気軽に受けられる技術研修が欲しい」「技術職員対象の研修が無い」「勉強したいけど一人ではどうして良いか分からない」等といった切実な要望を多数いただきました。これらのアンケート結果を踏まえ、平成20年度より『市町村技術職員研修会』を試行開催してまいりました。

## 好評です

研修会は、平成20年度に2回、21年度に5回、22年度に6回開催し、実績と経験を積んできました。研修会は、府内市町村の技術職員に毎回、多数の参加をいただいています。特に若い職員が多く会場は熱気ムンムンです。

当研修会は、「気軽に受講できる技術研修を目指す」として講師と打合せを行っています。その手法として講座は、基礎的な用語の説明やフローの解説を重点に行います。また、基礎的なことを再勉強することにより同僚職員とのコミュニケーションの促進。コンサルタント、工事請負者、一般市町村民との円滑な意思疎通を図る。等を目的としています。

研修終了後、研修生からアンケートをいただいておりますが、そのアンケート結果では「継続して研修会を続けてほしい」「技術職員対象の研修機会が出来て良かった。」と好評を得ています。研修会場はいつも満室ですが、研修生の方々・講師の先生方の協力を頂き、スムーズな進行がはかられています。

平成23年度は、研修生や市町村研修担当の方々の意向を参考に下記のような、研修会開催を計画しています。また、このうち2回は、マッセOSAKA(おおさか市町村職員研修研究センター)と共催で実施する予定です。現在、工事に携わっておられる方々、デスクワークの方々、それぞれに必ずお役にたつ内容となっておりますので奮ってご参加ください。

この研修会を、市町村技術職員個々の技術能力の研さん、向上の取り組みの一つとして。また、市町村における技術職員に対する研修の充実を図る場として、活用されることを期待しています。



## 平成23年度 市町村技術職員研修会〈日程表〉

(財)大阪府都市整備推進センター

番号	開催予定日	研修会名	研修内容	コース	予定人員
1	5月24日(火)	土木構造物検査技術施設研修・交通バリアフリー比較体験研修	①鋼構造物・コンクリート構造物検査研修施設の現物サイズでの研修 ②交通バリアフリー比較体験研修	半日	20
2	6月28日(火)	橋梁維持補修研修(コンクリート橋)	①PC橋梁の概要 ②コンクリート橋の変状と維持・補修	半日	50
3	8月予定	基礎技術力研修	①道路・街路 ②都市計画 ③監督職員	未定	30
4	10月4日(火)	地盤調査の基礎知識	①地盤調査の基礎知識 ②構造物設計に必要な地盤調査 ③直接基礎の支持力計算演習	一日	50
5	11月8日(火)	道路構造物設計(擁壁と函渠)	①概論(擁壁と函渠の構造・設計) ②擁壁の設計と演習 ③函渠の設計と演習	一日	50
6	12月13日(火)	仮設構造物の設計	①山留め工の設計と演習 ②路面覆工の設計と演習	半日	50
7	1月31日(火)	舗装の設計(基礎知識編)	①舗装の概要と排水性舗装 ②舗装の設計と演習	半日	50



平成22年6月8日「バリアフリー比較体験研修」



平成22年12月14日「舗装の基礎知識研修会」





# 賛助会員及びまちづくりアドバイザーのご紹介

センターでは、地域住民が主体となったまちづくり活動団体の初動期段階を支援するサポート助成やまちづくりアドバイザーの派遣、密集市街地の防災性の向上を目的とした老朽建築物の除却等の検討を支援するサポート助成など、各種支援を実施しています。

これらの支援にご協力をいただいている賛助会員及びまちづくりアドバイザーをご紹介します。

## ◆賛助会員 (平成23年4月1日現在)

No	法人名	所在地	No	法人名	所在地
1	株式会社総合鑑定所	大阪市北区中之島2-2-7	30	株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所	大阪市中央区城見 1-4-70
2	株式会社地域経済研究所	大阪市中央区南船場2-12-16	31	株式会社都市環境ランドスケープ	大阪市中央区島町2-4-9
3	株式会社NISSO 大阪支店	大阪市北区豊崎2-7-9	32	株式会社都市・計画・設計研究所	大阪市北区天満4-3-5
4	株式会社奥村組	大阪市阿倍野区松崎町2-2-2	33	株式会社都市問題経営研究所	大阪市中央区瓦町4-8-4
5	株式会社鹿島建設 関西支店	大阪市中央区城見2-2-22	34	株式会社ユニーデーターコンサルティング	大阪市中央区本町4-7-4
6	株式会社北近畿住建	門真市末広町43-1	35	株式会社南井上守建築事務所	大阪市中央区谷町1-3-23
7	株式会社北野建設 大阪支店	大阪市北区堂島1-2-5	36	株式会社小笠原設計	大阪市中央区北浜東2-19
8	京阪電気鉄道株式会社	京田辺市山手中央3	37	株式会社匠設計	大阪市淀川区東三国5-13-9
9	株式会社鴻池組 大阪本店	大阪市北区梅田3-4-5	38	株式会社中尾総合建築設計事務所	門真市新橋町14番1-203
10	近藤建設工業株式会社 大阪支店	大阪市中央区道修町2-6-7	39	株式会社YASUKO・SIBASAKI 一級建築士事務所	神戸市中央区港島中町3-2-6
11	志真建設株式会社	大阪市中央区南船場4-12-12	40	一般社団法人 大阪府建設産業協会	大阪市浪速区敷津西2-11-4
12	清水建設株式会社 関西事業本部	大阪市中央区本町3-5-7	41	株式会社関西ビジネスインフォメーション	大阪市北区中之島3-2-18
13	大成建設株式会社 関西支店	大阪市中央区南船場1-14-10	42	株式会社光亜興産	門真市末広町43-1
14	大鉄工業株式会社	大阪市淀川区西中島3-9-15	43	株式会社松下住宅建設	門真市新橋町14-1
15	大日本土木株式会社 大阪支店	大阪市浪速区湊町1-4-38	44	株式会社デン設計	大阪市淀川区西中島3-8-15
16	高松建設株式会社 大阪本店	大阪市淀川区新北野 1-2-3	45	株式会社まちづくり工房・晴	大阪市中央区谷町1-4-2
17	株式会社竹中工務店	大阪市中央区本町4-1-13	46	株式会社大和ハウス工業	大阪市北区梅田3-3-5
18	株式会社南海辰村建設	大阪市浪速区難波中 3-5-19	1	株式会社大阪府建築士事務所協会	大阪市中央区農人橋2-1-10
19	日本国土開発株式会社 大阪支店	大阪市西区西本町 1-10-10	2	株式会社大阪住宅センター	大阪市中央区南船場4-4-3
20	フジ住宅株式会社	岸和田市土生町1-4-23	3	株式会社大阪賃貸住宅経営協会	大阪市中央区谷町7-5-22
21	丸信住宅株式会社	寝屋川市萱島信和町 14-1	4	株式会社大阪府建築士会	大阪市中央区谷町3-1-17
22	株式会社森長工務店	大阪市旭区中宮 1-1-11	5	株式会社大阪府宅地建物取引業協会	大阪市中央区船越町2-2-1
23	株式会社アーバン・プランニング研究所	大阪市中央区徳井町2-4-14	6	株式会社日本ツーバイフォー建築協会 関西支部	大阪市西区土佐堀1-1-23
24	株式会社オール・アイ・エー 大阪支社	大阪市北区堂山町1-5	7	株式会社再開発コーディネーター協会	東京都港区西新橋2-16-2
25	株式会社浦ハウジング&プランニング 大阪支店	大阪市北区西天満1-7-20	8	株式会社全日本不動産協会 大阪府本部	大阪市中央区谷町1-3-26
26	株式会社エス・ジー都市経営	大阪市中央区釣鐘町1-1-1	9	株式会社日本木造住宅産業協会 近畿支部	大阪市中央区城見1-2-27
27	株式会社URサポート	大阪市中央区城見 1-2-27	10	株式会社不動産協会 関西支部	大阪市北区中之島 3-2-18
28	国際航業株式会社 大阪支店	大阪市中央区南船場3-4-26	11	株式会社プレハブ建築協会 関西支部	大阪市中央区天満橋京町2-1-3
29	株式会社COM計画研究所	大阪市阿倍野区帝塚山1-6-3			

## ◆まちづくりアドバイザー (平成23年4月30日現在)

登録番号	氏名		勤務先 勤務先の名称	保有する専門資格										得意とする支援分野											
	漢字	ふりがな		博士	技術士	技術士補	RCCM	一級建築士	二級建築士	再開発コーディネーター	土地企画整理士	弁護士	公認会計士	税理士	その他	街の形づくり(土地)	街の形づくり(建物)	街の形づくり(まちづくり)	安全安心なまちづくり	良好な住環境の保全	改修まちづくり	街なかの再生	交通環境の改善等	その他	
MA-2	井原 友建	いはら とまたけ	特定非営利活動法人 地域再生研究センター																						
MA-3	入口 嘉憲	いりぐち よしのり	株式会社ユニーデーターコンサルティング																						
MA-4	梅谷 光男	うめたに みつお	都市開発再生研究所(自宅)																						
MA-5	奥村 雅一	おくむら まさかず	株式会社オール・アイ・エー大阪支社																						
MA-8	澤 一寛	さわ かずひろ	株式会社日本カラーテクノロジー研究所																						
MA-10	宮本孝二郎	みやもと こうじろう	なむ地域づくり研究所																						
MA-11	森栗 茂一	もりくり しげかず	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター																						
MA-12	芝崎 康子	しばさき やすこ	Y・SHIBASAKI一級建築士事務所																						
MA-13	三箇 茂夫	さんか しげお	LLCアグナスアーキテクト																						
MA-14	嶋出 理	しまで さとる	株式会社エス・ジー都市経営																						
MA-15	森田 耕二	もりた こうじ	株式会社エス・ジー都市経営																						
MA-16	三宅 毅	みやけ つよし	株式会社アーバン・プランニング研究所																						
MA-18	服部 好隆	はっとり よしたか	株式会社小笠原設計																						
MA-19	横関 正人	よこせき まさと	株式会社ネオジオ																						
MA-20	井上 守	いのうえ まもる	株式会社南井上守建築事務所																						
MA-21	中塚 一	なかつか はじめ	株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所																						
MA-22	馬場 正哲	ばば まさあき	株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所																						
MA-23	嶋崎 雅嘉	しまさき まさよし	株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所																						
MA-24	延藤 安弘	えんどう やすひろ	NPO法人 まちの縁側育くみ隊																						
MA-25	坂井 信行	さかい のぶゆき	株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所																						
MA-26	高柳 芳之	たかやなぎ よしゆき	高柳会計事務所																						
MA-27	山下 香	やました かおり	建築・まちづくり事務所 状況設計室																						
MA-28	井戸田精一	いのだ せいいち	一級建築士事務所 イドタセイイチ アトリエ																						
MA-29	加々良 実	かがらみの	日本測地設計株式会社 関西支店																						
MA-30	渡邊 寿之	わたなべ ひさし	株式会社都市・計画・設計研究所																						
MA-31	廣田 利彦	ひろた としひこ	株式会社倉田総合鑑定																						

# (財)大阪府都市整備推進センターのごあんない

## 都市整備事業

地域のもつ特性や資源を活用し、都市基盤・地域整備を進め、安全・安心・快適で魅力ある都市の再生をめざしています。

### 都市整備事業の内容

- 府民協働のまちづくりの立ち上げからまち育てまでの支援
- 都市・地域整備の調査研究、まちづくり戦略提案、各種都市整備関連受託業務
- 土地区画整備事業のマネジメント



## まちづくり支援事業

快適で魅力ある市街地の形成のために、まちづくりに関する相談、助成、情報提供などを支援しています。

### まちづくり支援事業の内容

- まちづくり相談
  - 密集市街地整備事業や土地区画整理事業などまちづくりに関しての疑問や悩みにお応えします。
- まちづくり活動支援
  - まちづくり初期期活動サポート助成
  - アドバイザー派遣
  - 事業化検討支援
- 密集市街地まちづくり活動支援
  - サポート助成
  - 支援調査
- 人材育成・普及啓発
  - 情報の収集・提供
  - 調査研究



## 公共用地活用事業

河川や高架道路下など公共空間を駐車場等として有効に活用しています。

### 公共用地活用事業の内容

- 駐車場管理運営
- 駐車場整備(新規開設・改良)
- その他公共用地活用業務に関すること



## 阪南事業

公共工事から排出される建設発生土や浚渫土砂を有効利用して都市の基盤となる人工島造成を進めています。

### 阪南事業の内容

- 阪南2区への建設発生土等の受入・埋立・整地の実施
- 阪南2区のまちづくり業務の実施



まちづくりのコーディネーター

## 財団法人 大阪府都市整備推進センター

〒536-0016 大阪府城東区蒲生2丁目10番28号(大阪府城東庁舎内)  
 電話・FAX ■ 管理部  
 ● 総務課／TEL06-6933-8581(代) FAX06-6933-8587  
 ■ 都市整備事業部  
 ● 都市整備事業課／TEL06-6933-8582～3 FAX06-6932-1560  
 ■ まちづくり支援室／TEL06-6930-0260 FAX06-6930-0261  
 ■ 特定事業部  
 ● 公共用地活用事業課／TEL06-6933-8797 FAX06-6930-0261  
 ● 阪南事業課／TEL06-6933-8584 FAX06-6930-0261  
 ■ 特定事業部 阪南事業所 〒596-0016 岸和田市岸之浦町9番地  
 TEL072-431-1793 FAX072-431-1783

ホームページ <http://www.toshiseibi.org/> メールアドレス [otsc@toshiseibi.org](mailto:otsc@toshiseibi.org)

